

# 2021年度地域環境活動演習報告会

## Stay Home! おうちで防災を考える

1. 演習の目的
2. 防災教育について
3. 目黒巻
4. 考察
5. 残された課題

明石青夏・松浦壮汰(遠藤班)

## 演習の背景・目的

- ・コロナ禍における自粛生活

  - 家の中でできる「環境活動演習」

    - =防災意識の向上

- ・身のまわりにあるリスクについて理解するためには？

  - 実際に起こった災害について考える

## 防災教育

- ・自然災害リスクに対する理解を深める

- ・災害が発生してからとるべき行動を学び、実行できるようにする

# 防災教育について

## ◎定義

災害などのリスクから、自分の身を守るための方法を学ぶ教育

## ◎機能、ねらい

- ・災害発生時の時間的に切迫した状況下
  - ・何が起きているのかははっきりとつかめない中
- 適切な判断が出来る力を培う

## ◎種類

演習の形態から以下のように分類することが出来る

討論型図上演習	基礎演習
	グループワーク
	ワークショップ
	ゲーム
対応型図上演習	

# 目黒巻について

## 目黒巻とは？

歴史：2001年に目黒公郎が提唱した目黒メゾットを基に開発

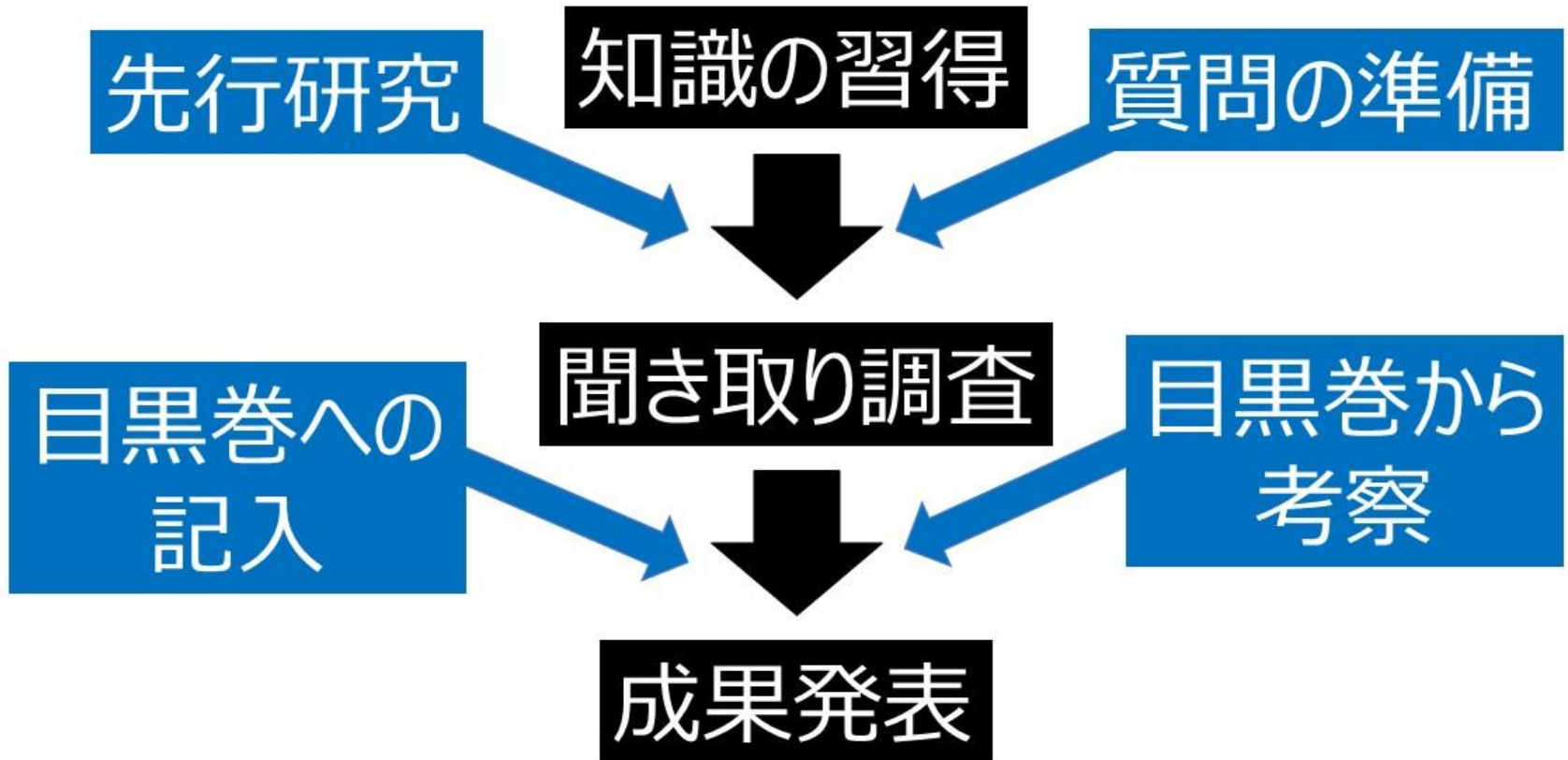
→防災には災害への想像力が必要！

内容：災害が起きたという仮定の下、時間軸に沿って自身の行動や周りの状況を記入していく

## 目黒巻の特徴

- ・ 地震などの自然災害についての理解が深まる
- ・ 記入が簡単である
- ・ 自分で時間設定が出来る
- ・ 災害発生時のシミュレーションが出来る
- ・ 災害発生後の行動の対策が出来る

# 演習の進め方



# 聞き取り調査に向けて

## 質問票の準備

質問の発案



質問の統廃合

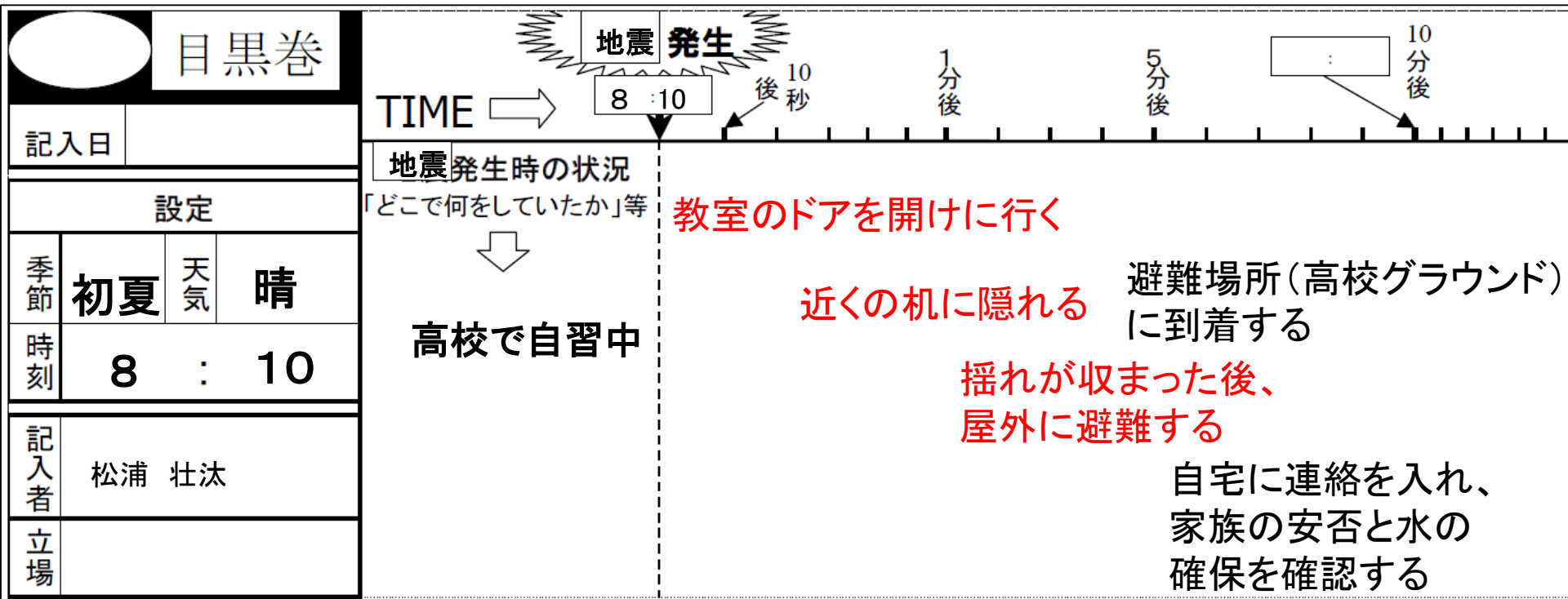


質問のカテゴリーを考える・分けていく

## 質問のカテゴリー

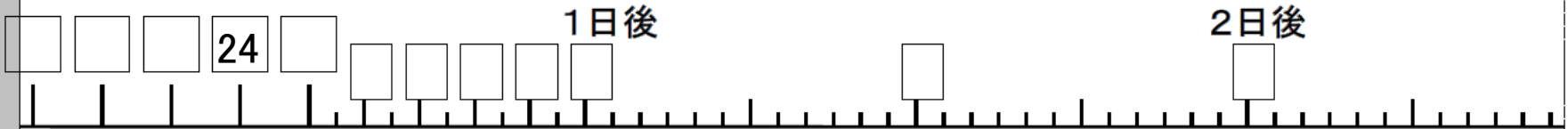
- ①被災直後の行動について
- ②避難所・避難経路について
- ③衣食住などの生活について
- ④被害の規模について
- ⑤被災から学んだことについて

# 目黒巻 (2018年大阪北部地震)









ガスが使えず、やかんで水を沸かして  
簡易のシャワーとした

自宅の損害がひどくないので自宅で待機

余震が怖く、自宅の2Fに家族全員で寝る

3日後

1週間後

1ヶ月後

半年後

1年後

お風呂以外は普通の生活に

自衛隊がお風呂を設営してくれ、  
入浴が出来る

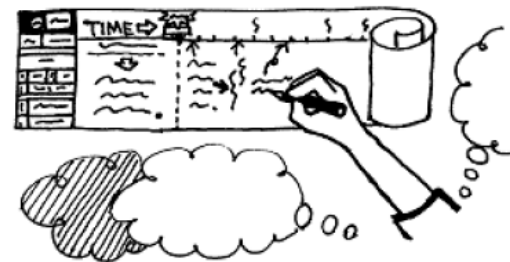
ガスが復旧し、  
お風呂に入れるようになる

ある程度  
元の日常に戻る

## 目黒巻の書き方

目黒巻では、自分を主人公にした一つの物語を作ってください。

手帳に書き込む感覚で、発生後の自分の状況・行動・気持ちなどを想像し、時間軸に沿って自由に書きこんでください。



# 目黒巻(2018年西日本豪雨)

## 実際の被害の様子



# 目黒巻(2018年西日本豪雨)

目黒巻	
記入日	
設定	
季節	夏 天気 雨
時刻	23 : 35
記入者	
立場	

TIME →	23:35	10秒後	1分後	5分後	23:45	10分後
豪雨	発生時の状況 「どこで何をしていたか」等	爆発発生				

↓

**2018年豪雨被害**

何が起きたのかを把握する

自分、家族の安全の確保

周辺の状況を確認する(出火していないかなど)

**一次避難**  
徒歩で行ける範囲の安全な場所へ(公会堂)

家族や近隣の人と一緒に行動する

20分後

0:05

30分後

40分後

50分後

1h後

0:35

2h後

2:35

3h後

時

一次避難場所で  
安全の確保

体が冷えないように毛布などで  
暖をとる

一次避難場所も  
被害で破損している可能性があるため、ガラスなどに  
気をつける

市役所からバス  
が出たり、近隣の  
人と車で移動する

二次避難場所へ移動

少し離れた設備の整った場所へ移動(体育館)

道路や橋が  
決壊している可能性もあるため、  
注意する

10時間後

のりしろ

9:35

1日後

2日後

パンと飲み物を  
支給される

トイレは避難場  
所の設備を利用

昼食、夕食も  
パンと飲み物

おにぎりが配られ、  
やっと白米が食べ  
られる

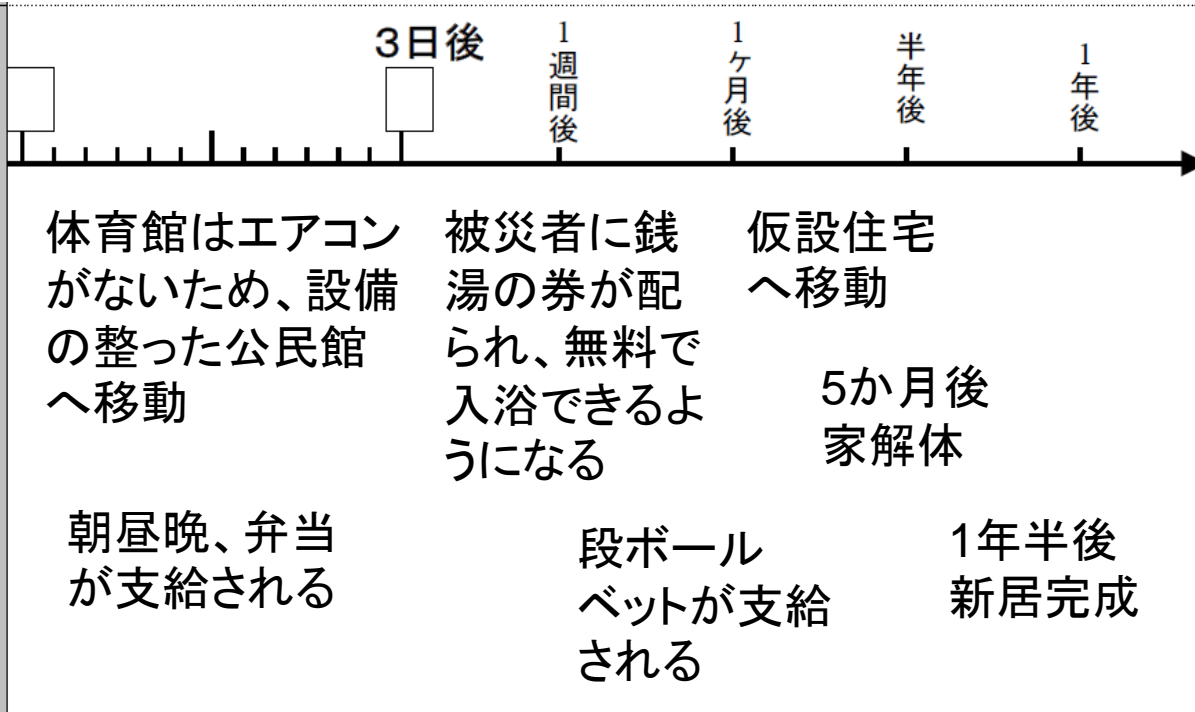
被害の小さい近くの  
地域に住む親戚や知  
り合いから生活に必  
要なものを受け取る

お風呂はまだ入  
れていない状況

体育館の床に  
座布団や毛布  
を敷いて寝る

近くの銭湯が開放  
され、入浴が出来  
るようになる

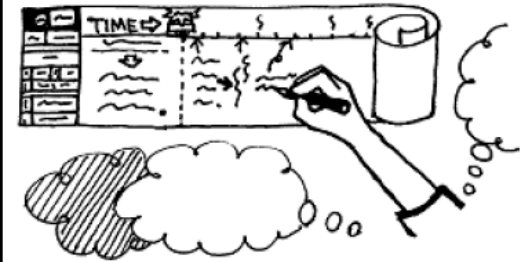
避難所にいる間に家は浸水



## 目黒巻の書き方

目黒巻では、自分を主人公にした一つの物語を作ってください。

手帳に書き込む感覚で、発生後の自分の状況・行動・気持ちなどを想像し、時間軸に沿って自由に書きこんでください。



# 考察

- 理想的な行動について
  - ・衣食住の確保を被災後すぐに行うことが必要
  - ・被災前の準備が出来ていると避難にかかる時間が大幅に減る
- 目黒巻を書いてみて・聞き取ってみて
  - ・数年前の被災であるのにもかかわらず、記憶が抜け落ちている点が多々あった
  - ・他者に聞き取りを行うことで、防災意識を高めないといけない自覚が生まれた
  - ・実際に被害に遭った時の思考回路を知ることが出来た
- 他者の防災意識を上げるためには
  - ・実際に被害に遭った時の思考回路を知り  
自身の取るべき行動を冷静な状態で考える
  - ・目黒巻を書くイベントなどを開催し、広報活動を行う



# 残された課題

## ● 今後の課題

- ・広報活動→目黒巻の周知・知名度を高める

例) イベントの開催(来年度以降)

- ・目黒巻の改善→地震以外の災害にも対応できるようなものに!

例) 台風、浸水、豪雨など

改善案

自分がとる行動を被害状況にそって書いていく

改善例) 5分後に避難→警報が発表されたら避難

## →社会全体の防災意識を上げる

- ・災害で被害に遭っても正しい行動をとることが出来る社会へ
- ・日本では避けることの出来ない災害での被害者を減らす